

ガバナー月信



月信7月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 地区幹事挨拶
- ③ 地区財務委員挨拶
- ④ グローバル補助金奨学生オリエンテーション
- ⑤ 小千谷 RC 創立 60 周年記念式典
- ⑥ RI 国際大会
- ⑦ 白根 RC 創立 60 周年記念式典
- ⑧ 新潟万代 RC 創立 30 周年記念式典
- ⑨ 次年度防減災セミナー
- ⑩ 日本青少年交換研究会
- ⑪ 地区研修委員会設立について
- ⑫ 財団委員会通信
- ⑬ 地区主要行事予定 (7月・8月)
- ⑭ 新入会員紹介・訃報
- ⑮ コーディネーターニュース
- ⑯ ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区
2023-24 年度

米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナー就任のご挨拶

2023-24 年度 ガバナー

米山 忠俊 (三条北 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2023-24 年度ガバナー就任のご挨拶を申し上げます。2 年前 2021 年 7 月第 4 分区 AG 会、会長幹事会の推薦を受け、佐藤カバナーとガバナー選考委員会 山本委員長より要請を頂き僭越ですがお引き受けさせて頂きました。

私はその後、ガバナーノミニー・カバナーエレクトを経験させて頂き、皆様よりご支導ご協力を頂きながらガバナー年度に向けて準備を進めて参りました。

お陰様でこの 1 月の国際協議会、3 月の PETS、5 月の地区研修協議会と、7 月からの米山年度に向けたセミナー、講習会、勉強会を地区の高尾研修リーダーをはじめ、地区のクラブ、ガバナー補佐、役員、ロータリー関係者の皆様のご支援ご協力を頂き無事に終え、新年度を迎えております。

2023-24 年度ゴードン R マッキナリー国際ロータリー会長は「世界に希望を生みだそう」(CREATE HOPE in the WORLD) をテーマにあげられました。このテーマの思いは「希望は夢を現実になりたいと強く願う人達の創造力、そして勇気の中にあります。この言葉は私達の全ての活動にとって意味があります。夢は世界の平和と人々の幸せです。」「心に愛がなければどんな言葉も奉仕活動も相手の心に届きません。心を届けましょう。心と心を継ぎましょう。人は希望が生きがい。世の為人の為になる事が誇り。広い心で生きねば」とゴードン会長は世界に発信されています。

私は地区運営方針を「ロータリーの心で友情を深めよう」をテーマにしました。ロータリーの心とは相手を思う心です。お互いに慈愛の心で繋げていきましょう。

結びに、ガバナーは私にとって責任の重い厳しい役職ですが、やりがいのある仕事でもあると思っています。皆様と一緒に楽しく実のある年度になるように頑張りたいと思います。何卒皆様のご指援助とご協力を宜しくお願いいたします。



米山年度がスタートしました

地区幹事

石黒 隆夫 (三条北 RC)

米山年度がスタートしました。米山年度地区幹事 三条北ロータリークラブの石黒隆夫と申します。米山年度の地区運営方針は「ロータリーの心で友情を深めよう」です。これから1年間皆様との友情が深まりますよう努力しますのでよろしくお願いいたします。すでに3月にPETS、5月に地区研修・協議会を皆様大勢のご参加により無事終了することができました。内容はガバナー月信4月号と6月号にて各実行委員長の報告をご覧ください。特に地区研修・協議会では、久しぶりにフルサイズでの開催と懇親会もすることができ研修と親睦を深めることができました。そしてガバナー公式訪問が始まります。米山年度の事業はコロナ禍以前の状態に戻したいというガバナーの考えのもと直接訪問を基本としていますが、クラブ協議会はガバナー補佐事前訪問時に行っていただき、懇親会につきましても遠慮させていただく事としておりますが、懇親会が恒例となっていてどうしてもと言われるクラブは各分区ガバナー補佐にご相談ください。調整して努力しますが期待に応えられない場合はお許しください。公式訪問は私自身がとても緊張しておりますので、伺った際には何卒よろしくお願いいたします。そして10月のゴルフ大会と11月の地区大会の準備も実行委員会によって進めておりますので、大勢のご参加をお待ちしております。

また、米山年度では地区研修委員会が新しく発進いたしました。これからガバナー補佐、クラブ会長、幹事に就任される方にとってはとても心強い事業が行われますので、こちらのご参加もよろしくお願いいたします。

重ねて米山年度への皆様のお力添えをお願い申し上げますと共に、各クラブが米山年度で更に活性化され友情が深まりますことを祈念申し上げ地区幹事の挨拶とさせていただきます。



米山年度のスタートにあたり

地区財務委員

石川 勝行 (三条北 RC)

新年度の7月を迎え、いよいよ米山年度がスタートしました。

今年度の米山ガバナーの地区運営方針「ロータリーの心で友情を深めよう」のもと、COVID-19が感染症上回復期に移行したことを考え予算組を行いました。

予算編成の基になる会員数を2,000名とし、予算を算出しました。地区全体の会員数が減少傾向にあるものの、各クラブの活性化の努力等を考え維持できる会員数としました。

一人当たりの分担金（一般会計・特別会計）につきましては、前年度の高橋年度と同額とさせて頂きました。

支出については、ガバナー事務所の移転関連費用、地区研修委員会費用、米山記念奨学委員会費用、ライラ委員会費用等の増加をさせて頂きました。

今年度は、ウクライナ戦争による燃料費等上昇による諸物価高騰（会場費等）及びCOVID-19の先行き不透明な状況を考え、PETS、地区研修・協議会の間には予算の修正をご承認頂き御礼申し上げます。

米山年度の地区運営方針に則した予算執行に努めます。一年間どうぞよろしくお願いたします。





グローバル補助金奨学生 オリエンテーション

奨学生・学友会・VTT 委員会
委員長

大竹 賢一 (三条東 RC)

2023-24 年度派遣ロータリー財団グローバル補助金奨学生候補者オリエンテーションが、5月21日ホテルオークラ新潟で行われました。

先般の選考会で合格となった田中悠さん（新潟 RC 推薦）と青木淳子さん（新潟南 RC 推薦）の二人に、ロータリー財団の奨学生とはどういうものかしっかり説明し、奨学金受諾の条件について同意していただくことを目的としています。

高橋ガバナー、米山ガバナーエレクト、佐藤財団委員長の挨拶の後、私が MyRotary の e ラーニングを活用して、ロータリーについて、出発前の準備と留学中の心構え、奨学金の支給方法、報告書の提出などを説明しました。この奨学金はもらって終わりではなく、留学によって得た知識と人脈を活かして、将来ロータリーの掲げる重点分野において成果を上げていくことが求められていることを強調しました。そのためには学業の他に現地のスポンサークラブの例会、活動に積極的に関わることも必須の条件です。帰国後は卓話や地区のセミナーなどで成果の報告をしてもらいたいこと、学友会に参加すること、そして将来ロータリークラブへの入会も検討して欲しいことを伝えて説明を終えました。

続いて 2020-21 年度グローバル奨学生の梅澤光里さんの体験談を動画で見ていただいた後、学友会会長、高橋ガバナーより財団奨学生候補者の心得についてお話をいただきました。ロータリーの奨学生としての経験を持つガバナーのお話は、私たちロータリアンにも非常に興味深い内容で、これから留学を目指す二人には得るものが多かったのではないかと思います。今回派遣予定の二人はいずれも留学経験があるのですが、今回は地区とクラブの親善大使としての役割も求められる点で大きく異なります。日本のこと、地区のことについて話す場面があるときに、話すことがあまりない、よく分からないでは相手の失望を招き、恥をかくことになるとのこと。私たちは謙遜もあって新潟には何も無い等と県外の人に言うことがありますが、国際的な交流ではこれはまったくマイナスなことだと感じました。ロータリアンである以上、いつ海外の仲間と交流する機会があるかわかりません。自分たちの住む地域について歴史や文化、産業などについて造詣を深めておかなければならないと思いました。

次にスポンサークラブの会長、カウンセラーより候補者へ激励の言葉をかけていただきました。奨学生はロータリーとの連絡はすべてスポンサークラブを通して行われます。特にカウンセラーはサ

ポートの中心的な役割を務めていただくこととなりますので、一年間よろしくお願いいたします。

最後に同意書へのサインでオリエンテーションは終了です。この同意書には様々な条件が記載されています。奨学金は決められた目的以外には一切使えないこと、支給決定前に支出したものは後から補填できないこと、十分な医療保険に加入すること、それぞれの責任の範囲などが細かく定められており、全てを理解して守っていただくことを誓約していただきました。

田中さんは7月よりオーストラリアへ、青木さんは9月よりオランダへ留学する予定です。感染禍が終わり、グローバル奨学生の問い合わせも増えています。クラブへ推薦の問い合わせがありましたら是非前向きに検討していただきますようお願いいたします。そしてこの価値ある奨学金制度を支えるロータリー財団へのご寄付を、今後ともよろしくお願いいたします。





創立 60 周年記念式典を終えて 感謝と御礼

小千谷ロータリークラブ
2022-23 年度会長

藤澤 博忠 (小千谷 RC)

この度は私共小千谷ロータリークラブ創立 60 周年記念式典に大勢の皆様からご臨席を賜りましたことに心より御礼と感謝を申し上げます。

本来ならば、1 年前の 5 月 28 日に開催を予定しておりましたが COVID-19 の蔓延により、先行き見通せず、中止するべきか、クラブメンバーだけの開催とするか、また 1 年後の 61 周年では意味があるのか等大変悩みましたが、とにかくまずは計画してみようと決断しました。

COVID-19 の感染防止対策を徹底するため、会場内の人数制限、開催時間の短縮、第 6 分区以外のロータリークラブの皆様に対しては 1 名での登録をお願いしました事、そして、奇しくも国際大会と日程が重なってしまい高橋秀樹ガバナーはじめ、他多くの皆様にご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。繰り返しの計画見直し、大変な心配をしましたが、おかげさまで令和 5 年 5 月 27 日、1 年遅れの 60 周年の開催が叶いました。企画する中で心がけたことは、60 年間の感謝を伝えるとともに、お客様そして小千谷のメンバーからとにかく楽しんでもらうこと、手作り、ライブ感で精一杯のおもてなしをしようと全員で取り組み準備を重ねてまいりました。その結果、クラブ内に普段より一層の活気と団結力と対話が生まれ、皆が開催を待ち遠しく思う何とも言えない良い雰囲気での奉仕が出来ました。行き届かない点多々あったかと存じますが、皆様方のおかげで思い出に残る式典を開催できました事に改めて御礼を申し上げます。

私も 61 代目の会長を仰せつかり、1 年間 RC 活動に真剣に取り組む事によって、今更ながら RC のたくさんの素晴らしさに気づき、RC に入って良かったなあと感じております。これからも皆様方と語り、行動し、盃を交わし、より深い交流が出来ますようお願いながら RC 先輩方の思いを継承し、より良い奉仕の理想が達成出来るよう努めてまいります。この度は大変ありがとうございました。

また 60 周年記念事業としまして、小千谷市へ駅前ロータリーの大型案内看板設置、花壇整備、そして防災公園へ子供用ベンチ設置合わせて 250 万の寄贈が出来ました。市民皆様から長く愛される事を期待します。





メルボルン国際大会に 参加してきました！

国際奉仕委員会

委員長

徳永 昭輝 (新潟 RC)

2022-23年度ロータリー国際大会「メルボルン国際大会」が2023年5月27日から31日までオーストラリアのメルボルンのロッド・レバー・アリーナで開催されました。

2560地区からは24名のロータリアン・家族が参加しました。

地区委員会ではメルボルン国際大会に参加するツアーを企画し、高橋ガバナー、石本パストガバナー夫妻、新保ガバナー夫妻、石橋前新潟 RC 会長夫妻、徳永国際奉仕委員長夫妻、小柳陽一さん（新津 RC）、吉田之人さん（十日町 RC）の11名が参加されました。5月28日（日）に開催された国際大会本会議には24名のロータリアンが登録参加されました。

夜は現地のレイクレストラン「Atlantic」でガバナーナイトを開催しました。現地参加されたロータリアンは新潟 RC から宇尾野隆さん、若槻良宏さん、小木将綱さん、新潟中央 RC から川合千尋さん、新潟西 RC から馬場伸行さん、新発田城南 RC から長谷川寿一さん、高橋敏幸さん、阿部信夫さん、渡辺孝一さん、長岡 RC から松原幸人さん、高野裕さんも参加され楽しい時間と交流が行われました。



ジェファニー・ジョーンズ会長・参加国国旗の入場



日本国旗



ツアー参加者集合写真：友愛の家会場前

The Atlantic で「ガバナーナイト」2560 地区から 22 名が参加。新潟 RC の宇尾野隆さんが誕生日ということでケーキが用意され楽しいガバナーナイトになりました。



22 名が参加したガバナーナイト



新潟 RC 宇尾野さん
誕生日サプライズケーキ

5月29日・30日はメルボルン市内観光：世界遺産ロイヤルエキシビジョンビルディング、フィッツロイ公園、セントパトリック大聖堂を見学し、ヤラバレーワイナリーで楽しい昼食をし、観光後はシドニーへ。



5月30日、世界遺産ブルーマウンティン1日観光後、夕食はDarlinghurstでイセエビの何倍もあるロブスター料理を満喫。



5月31日にはシドニー市内観光して無事帰国しました。



オペラハウスを背景に



白根ロータリークラブ 創立 60 周年記念式典

白根ロータリークラブ
会長

大矢 昭弘 (白根 RC)

白根ロータリークラブ創立 60 周年記念式典・祝賀会が 6 月 3 日 (土) に、白根サルナート吉運堂において、高橋秀樹ガバナー、歴代のパストガバナー、ロータリアンの皆様、中原新潟市長様他ご来賓各位、国外からは、国際ロータリー 3690 地区の姉妹クラブ「光明ロータリークラブ」ファン・チョル会長様はじめ 8 名の親友が遠路はるばるお祝いに駆けつけてくださいました。また、この式典を誰よりも心待ちにされておりましたチャーターメンバーの長谷川章さん (91 歳) も、元気に参加され、式典を盛り上げて頂きました。式典では、設立にご尽力を頂きましたスポンサークラブの新潟ロータリークラブの石川会長様に感謝状を贈呈させていただきました。記念事業は、1) 感染症拡大の影響で生活困窮世帯に対し社会福祉協議会を通じ食料支援金の贈呈 2) ロータリー財団、米山奨学会へ寄付 3) 新潟市立白根小学校入り具と案内塔を寄付 4) 地域で一緒に生きよう講演会 (トキエア長谷川社長) 音楽祭 (ハルモニアジャズライブ) を 5 月 14 日 (土) ラスペックホールで実施 5) 大風合戦 60 周年記念風の作成他 6) 青年会議所、商工会青年部関係者と親睦ゴルフ大会の開催 (会員増強目的) など実施を報告させていただきました。その後の祝賀会では、オープニングアトラクション琴とヴァイオリンの演奏を皆様に楽しんでいただきました。

そして、今大会は、地元最大のイベント「白根大風合戦」を、ご来賓各位に見学していただき、地元を PR することを合わせて計画しました。天気予報では、祝賀会が終わるころには絶好の北風が吹く予報でしたが、台風の影響で願いかなわず「大風合戦」をお見せすることはできなく大変残念に思っています。最後に、記念式典、祝賀会と皆様とともに楽しいひと時を過ごせたことを感謝申し上げます。





新潟万代 RC 創立 30 周年 記念式典を終えて

新潟万代 RC 創立 30 周年記念事業実行委員会
委員長

石動 竹治 (新潟万代 RC)

令和 5 年 6 月 4 日、新潟万代ロータリークラブの 30 周年記念式典をホテルオークラ新潟にて開催をさせて頂きました。

当日は、新潟市長、商工会議所会頭並びに、高橋ガバナー他ロータリアンの方々にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

また、友好クラブであるホノルル・サンライズ RC、沼田中央 RC をはじめ地区内外、204 名のご登録、ご参加いただきました皆様には感謝申し上げます。

新潟万代ロータリークラブは新潟西ロータリークラブをスポンサークラブとして 1993 年 6 月 28 日国際ロータリー加盟認証を受け、チャーターメンバー 50 名で発足いたしました。

当クラブは 30 年間、地域社会福祉に重点を置き活動をしてきました。

このたびの創立 30 周年記念事業としましては、新潟市ヘリハビリ用器具 3 機種寄贈、ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがたへあさひ共同作業所製作の親子用エプロン 20 組寄贈、ロータリー財団、米山記念奨学会、社会福祉法人新潟いのちの電話、NPO 法人新潟あさひの会 あさひ共同作業所への寄付をさせて頂きました。

式典当日には全盲のシンガーソングライター佐藤ひらりさんと、NPO 法人まつぼっくりの会をお招きして記念コンサートを開催いたしました。また、祝賀会のアトラクションでは佐藤兄弟による三味線演奏もお聴き頂きました。

おかげさまで創立 30 周年記念式典を無事終了することが出来ました。

最後に、創立 30 年を迎えましたが、その間、色々な事が御座いました。

それもこれも全て今は恩讐の彼方です。

昨今の我らが新潟万代ロータリークラブはとても素敵なクラブに成りました。

文字通り、老若男女仲良く交じり合って、和して同ぜず、他クラブにも誇れる最高のクラブです。

例会以外の活動も活発で、いつも和気あいあい楽しいロータリーライフを送って居ります。

常々「万代は万代らしく」を標榜し、実行して来た成果だと思えます。

これも一重に、ご臨席を頂いた皆様始め、先輩ロータリークラブの皆様のお引き立ての賜物で御座います。

改めて衷心より重ねて厚く御礼申し上げます。





2023-24 年度ロータリー防減災セミナー報告 温暖化現象と自然災害との関係は？

ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長

清水 信博 (高田東 RC)

去る6月10日(土)、米山年度の防減災セミナーを無事終了する事が出来ました。例年、当該年度がスタートする8月頃に開催していましたが、今年度、高橋年度の当セミナーの開催がコロナウイルス感染の影響で遅れてしまい、8月に発生した県北水害の後の開催になってしまいました。

このセミナーは、いつ発生するか予測できない災害に対するロータリーとしての心構えや地区の役割、センターの役割そして各クラブの役割等を討議する場であるため、早急に開催すべきとのご指摘を頂き、前倒しで開催する運びとなりました。当センターにおいては次年度事業の前倒しで行う事は初めてであり、地区関係役員の皆様にはご苦労かけ感謝申し上げます。

今回の防減災セミナーは例年と少し内容を変更し、特に今問題となっている「温暖化現象が与える自然災害の脅威」に焦点をあて、なぜ異常気象が近年多発するのか、それがどのように災害と結びついていくのかを日本気象予報士の専門家から分かり易くお話を頂きました。参加者の皆様には理解が深まったのではないのでしょうか。

また、第2部として、災害時には不可欠な「情報収集」どのように進めていくかが、その後の被害の軽減に大きな役割を果たしますが、「防災ドローン」を使った取り組みを進めている防災ドローン実践研究会よりお話を頂きました。これからの取り組みであり、その効果は未知数ですが、今後、防災時での情報収集に大きな力を発揮する事は間違いないとの事でした。特に雪が降る我が郷土は、冬季にドローンを飛ばすのが困難であり技術的な課題もあるようですが、災害時大きな力になってくれると確信しております。当地区内で発生した災害に対し当センターを始め、地区役員や被災クラブとの情報収集や共有は非常に重要であり、このような技術を活用出来ないかなども含め、検討していく事も必要かと思われまます。

また、改めて災害時における地区の役割、当センターの役割、各クラブの役割を再確認させて頂きました。今回の防減災セミナーがクラブにとって大きな力になればと願っております。





日本青少年交換研究会 新潟会議

日本青少年交換研究会新潟会議実行委員会
実行委員長

鈴木 映一（新発田 RC）

去る6月10日・11日の二日間にわたり、第26回国際ロータリー日本青少年交換研究会 新潟会議が開催されました。この会議は毎年、青少年交換プログラムで来日している来日学生、これから留学を控えている学生、留学を経験したROTEX、プログラムに関わっている全国のロータリアンが一堂に会し、情報交換あるいは交流を持つ場として開催されており、今年度は新潟での開催となりました。

会議のメインとなる基調講演では、世界初のROTEXのみで構成されている東京北 Exchange ロータリー衛星クラブの議長であり、2011-12年度に柏崎から派遣された飯塚千尋さんがMCを務め、ウクライナの人々が苦しんでいる姿を報道で知り、なにかしなくてはとの思いからポーランドにわたり支援活動をし、次年度には第2660地区からポーランドへの派遣が決まっている高校生の右近いろはさん、ウクライナから避難した子供達にメッセージを送り励まし、その後も交流を続けている第2840地区にある荒砥中学2年生のリーダーである藤井ゆいなさんを迎え、素晴らしい講演をいただき、参加者の皆さんが口々に「素晴らしい」「感動した」と仰っていました。

学生にはエクスカッションとして朱鷺メッセ展望室から北方博物館、新潟ふるさと村をめぐるツアーを開催し新潟の良さを知っていただきながら、お互いに交流を持ってもらい、その後もROTEXが中心となった交流会では、友情が深まり大変に盛り上がっていました。

翌日の発表においても、特に来日学生による日本語でのスピーチでは、日本に来てよかったとの気持ちがこもった素晴らしいものでした。

当会議の本質とは言えませんが、全国から集まったロータリアン皆さんが、第2560地区新潟は素晴らしい、何を食べても美味しく、お酒も堪能したと喜ぶ姿には、新潟県民の一人として誇らしく感じました。

会議の内容や感想については、ここで書き切れるような事ではありませんが、全国規模の大会を新潟で開催できた事は、御理解いただいたガバナーをはじめとする役員の皆様に、心より感謝申し上げます。





地区研修委員会設立について

地区研修委員会
委員長

佐藤 真 (村上岩船 RC)

はじめに

近年の人口減少に伴うクラブ会員数の減少やクラブの解散、また COVID-19 禍により奉仕活動が制限され以前のような活動への再起動が困難となっている現状を鑑みると、今後ロータリーを通じた奉仕活動を充実させる事が困難になると危惧されています。

対応策はいくつか考えられますが、やはり私たちロータリアン自身や、ロータリーに入会してまだ経験の浅いメンバー、初めて会長幹事やガバナー補佐を経験する方などが、それぞれの立場に応じてロータリー活動の本質は何か？私たちがすべき事は何か？を学びなおす事が、地区やクラブそして個人の奉仕活動の活性化につながると思います。そのため地区としてロータリーを学ぶ機会を設ける必要があり高橋ガバナー年度では研修準備委員会、そして米山ガバナー年度では研修委員会を立ち上げ、南雲ガバナー年度から軌道に載せるために地区で研修する機会を設ける事となりました。

経緯

1、地区運営改善検討委員会からの提言

地区事務所固定化やガバナー輪番制などの提言を行ってきた地区運営改善検討委員会（鈴木重彦委員長）が、昨今の COVID-19 禍や人口減少などの現状から当地区のロータリー活動を今後とも充実させ活性化させるためにどのような方策が必要なのか鋭意協議を行っていました。

2022年8月に「地区運営に関わる現況の問題点の整理と改善戦略案」について協議を行い「ロータリーの魅力と会員増強に繋げる具体的取組の考察」の議論を深めてきました。2022年10月に提言書が完成し鈴木委員長から高橋ガバナーへ手交されました。主な提言項目は以下の通りです。

1) 地区事務所の更なる機能強化について 2) 地区研修の強化 3) 分区の再編について 4) 災害等への対応について

高橋ガバナーは同年12月に地区諮問委員会にて提言書を説明し、研修委員会設立を諮問したところ満場一致で賛同を得ました。そこで地区研修準備委員会を設置し、活動を始める事としました。

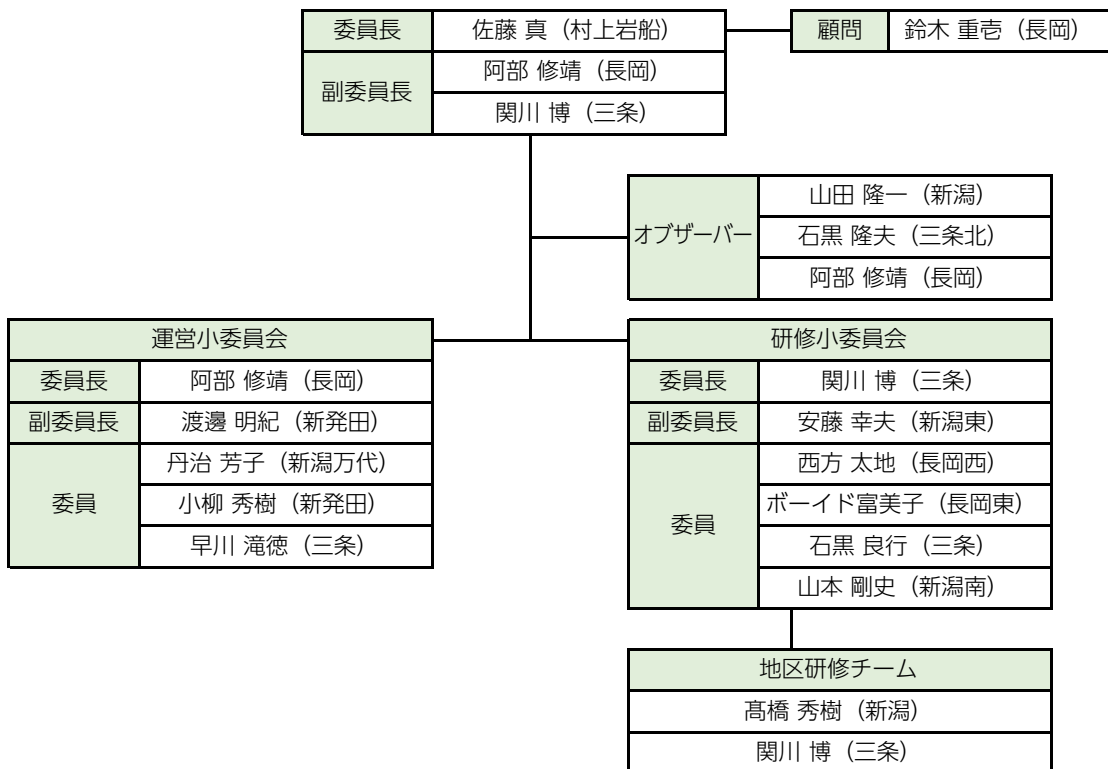
2、地区研修準備委員会の活動

2023年1月に地区研修準備委員会が始動し、どのような組織を構成すべきか各種研修内容（後述）をどのように充実させるか協議し、鋭意議論を積み重ねてきました。南雲ガバナー年度のメンバーを対象に、米山ガバナー年度で各種研修を行うために、高橋ガバナー年度で準備委員会が準備を進めてきました。いよいよ研修の具体的日程が決まりつつありますが、皆様の御協力により有為な研修が行われ、当地区に必要な研修として南雲ガバナー年度以降も定着できる事を目指しております。

3、地区研修委員会の組織とメンバー

米山ガバナー年度スタート共に活動を開始しますが、研修委員会は研修小委員会と運営小委員会で構成されています。研修小委員会は、各種研修リソースの収集、研修プログラムの策定、研修講師の育成などを行い、運営小委員会は、各種研修案内や設営、委員会活動の広報や周知に取り組めます。

地区研修委員会 組織図



研修概要

1、ガバナー補佐研修（第1回 2023年8月19日（土）、第2回 2023年10月1日（日））

目的：ガバナー補佐の責務を再認識し、担当クラブとガバナー組織の橋渡しの方法を習得し、クラブ活性化を促す。

対象者：南雲年度ガバナー補佐

2、クラブ会長幹事研修（2023年12月9日（土））

目的：スモールクラブやロータリー経験が浅い会長予定者の不安を取り除き自信を持っていただく。また、クラブ運営イメージを持ち、PETSでの理解を深める。

対象者：南雲年度クラブ会長幹事

3、地区チーム研修セミナー（2024年1月26日（土））

目的：ガバナーエレクトの年度方針を受け、ガバナー補佐及び地区委員会委員長がクラブ支援の意欲を高める機会。

対象者：南雲年度地区リーダー

4、ビギナー研修（調整中）

目的：経験の浅いロータリアンやもう一度ロータリーの本質を学びたいというロータリアンを対象にロータリーの基本を学び、他クラブや国際ロータリーの取り組みなど、実例を紹介しながらロータリーライフを楽しく実践できる導きを提供し、クラブでの活躍を促し、退会を防止する。

対象者：新入会員および入会2～3年程度までの会員

終わりに

新しい委員会ですが、当地区にとって必要で、かつ重要な研修を行ってまいります。地区内全クラブ及びロータリアン全員の理解と参加があってこそ継続されると考えています。未来に向けて当地区が輝かしいロータリアンの集合体であり続ける事を願っております。

「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

2022-23 年度地区補助金活用のプロジェクトの最終報告書が各クラブより提出されました。プロジェクトの企画立案・事前調査・打合せ・申請書提出そして実行、最終報告書の提出と、受益者その他協力団体など、関係者との協力体制なくして実行しえなかった事業が、報告書の中から拝見することができました。ありがとうございました。

2023-24 年度補助金活用のプロジェクトも新年度に入りスタートいたします。

7 月 22 日にはオリエンテーションも開催され、開始から最終報告までの詳細にわたり具体的事項の説明が補助金委員会よりありますので、十分理解されてプロジェクトの成功を受益者およびクラブ全員でおおいに分ち合う機会にさせていただきたいと思います。

次ページより「成果の確認」受益者からの意見・写真の添付などを紹介いたします。是非参考にされまして、プロジェクトの遂行にお役立てください。

紹介するプロジェクトは次の 2 クラブです。

- ・高田東ロータリークラブ
「「参勤交代うおーく」加賀・上越の高校生吹奏楽セッション」
- ・巻ロータリークラブ
「水芭蕉生息地環境整備事業」



本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 高田東ロータリークラブ

プロジェクト名: 「参勤交代うおーく」加賀・上越の高校生吹奏楽セッション

プロジェクト実施写真集 (プロジェクト実施写真 3~4 枚をなるべくデータにて貼り付けて下さい。)
にて A4 サイズに折りたたまずに納めて下さい。



加賀市側のマーチング行進でスタート



全国級実力のある高田北城高校のマーチング演奏



昨年、全国大会に出場して上越高校ダンス部の演舞



大東文化大応援団が両市にエール。元応援団長で高田北城高校 OB でもある丸山幹央さんが指揮者に。



高田東RC横山亘会長が挨拶



加賀の物産をチームエプロンが販売



村山秀幸会長と佐々木和彦会長



約100人が参加したFM全国生放送の会場



FM放送にプロジェクトの4人が生出演



中川幹太市長も



加賀中央RCとの懇親会。大盛り上がり



RC懇親会で2市、2RCに再度エールを送る丸山さん

本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 高田東ロータリークラブ

プロジェクト名: 「参勤交代うおーく」加賀・上越の高校生吹奏楽セッション

プロジェクト成果の確認

ご来場者様アンケートの結果概要 (67人からご回答をいただきました)

①4年前の夏に石川県加賀市の高校生たちが授業で知った江戸時代の参勤交代のルートの踏破に挑戦。東京から上越市高田を経て加賀までの840^{km}のコースをたすきリレーで歩き抜きました。ちょうど中間点の上越市高田では二本木からの約100人の歩行団を約300人の市民が大歓迎しました。この「加州大聖寺藩参勤交代うおーく2019」をご存じでしたか? (○でくくって下さい)

知っている	歓迎会に参加した	知らない
24人	3人	42人

②今回の交流会は4年前の歓迎交流会に感謝しようと加賀のみなさんが企画された「返礼参勤」のイベントです。交流会の内容はよかったですか?

良かった	まあまあ	もう少し
56人	6人	3人

※意見 1人 途中から見たのでよく分かりません

③あなたについてお尋ねします。

年代は? 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
20人 8人 2人 4人 13人 9人 8人 4人

お住まいは 旧上越市 21人 上越市13区 8人
上越市外 2人
差し支えなければ 石川県1人 加賀市12人 小松市3人 新潟市3人 新発田市1人
どちらから 柏崎市1人 十日町市1人 長野市1人 佐渡市1人 志木市1人

性別 男性25人 女性40人

④ご意見・ご感想をお書き下さい

○高校生の活動が見れて良かった。上手（旧上越市、10代、女性）○いろいろなパフォーマンスが見れてとても良かったです（加賀市、10代、男性）○風が強い中皆頑張っていて良かった。素晴らしかったです（13区、10代、男性）○天候が良くない中でよく頑張っていた。みんなが支え合っている姿はよかったです（加賀市、10代、女性）○もう少し情報があれば良かった。この強風の中皆さんお疲れ様です（旧上越市、50代、女性）○ひごろのれんしゅうで良く出来てよかったです（13区、70代、男性）○最初の挨拶が長かった（旧上越市、70代、女性）○進行を早くしてもらいたかった（旧上越市、70代、女性）○桜が一寸と残念でしたが、色々学生さん達のイベント楽しかったです。有難うございました（加賀市、80歳以上、女性）○今後も両市の交流を続けてほしい（小松市、60代、男性）○開会式前のやつてなに？（加賀市、10代、女性）○吹奏楽やダンスがおもしろかった（加賀市、10代、女性）○このような交流はぜひ続けていただきたいと思います（13区、40代、女性）○小学生も金沢へ修学旅行をしたり、加賀街道をわらしで歩く学習活動をしていた時代もありました。それも復活してほしいです！！（旧上越市、50代、女性）○KBBよかったです（旧上越市、20代、女性）○楽しかった♡（？、50代、男性）○初めて知ったイベントでした。観桜会のパンフにのっていなかったのですが、のせてあってもよいのではないかと思います。楽しかったです！（13区、40代、女性）○演奏あり、ダンスあり、とてもよかったです！多くの方に披露する機会が存続していくことを願っています（旧上越市、40代、女性）○桜も終わりでしたが、素晴らしいイベントを見させていただきました（新潟市、50代、女性）○天候が悪く残念でした（新潟市、50代、男性）○とても良かったです。高校生の方々のパフォーマンスがとても良かったです。ロータリークラブの皆様今後共頑張って活動して下さい（新潟市、60代、女性）○小さい頃加賀市に住んでいたことがあり、今回参加しました。物産品が売り切れていて残念でした。今後も楽しみにしています（旧上越市、50代、女性）○ありがとうございます（加賀市、60代、男性）○演奏やダンスが素晴らしかったです（旧上越市、10代、男性）○ダンスがかっこよかったです（加賀市、10代、女性）○吹奏楽のマーチがかっこよかったです（上越市外、10代、女性）○北城の吹奏楽の演奏が良かったです！！（旧上越市、10代、男性）○高校生のパフォーマンスはよかったです（旧上越市、50代、女性）○強風の中素晴らしいパフォーマンスでした。ありがとうございます（上越市、50代、女性）○ダンスが上手で楽しかったです（旧上越市、20代、女性）○楽しいので永く続くとよいと思います（？、80歳以上、女性）○とても良かったと思う。もっと上越全体に広まったらいいな（旧上越市、70代、女性）○場所が悪い。かわいそう（旧上越市、60代、男性）○若い人は良いですね。力をもらいました（？、80歳以上、女性）○桜は見られなかったがパワーをもらえた。いい交流のきっかけになっていると思う（長岡市、20代、男性）○ダンスが良かったです（13区、10代、女性）

本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 巻ロータリークラブ

プロジェクト名: 水芭蕉生息地環境整備

プロジェクト実施写真集 (プロジェクト実施写真 3~4 枚をなるべくデータにて貼り付けて下さい。)
にて A4 サイズに折りたたまずに納めて下さい。



本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 巻ロータリークラブ

プロジェクト名: 水芭蕉生息地環境整備

プロジェクト実施写真集 (プロジェクト実施写真 3~4 枚をなるべくデータにて貼り付けて下さい。)にて A4 サイズに折りたたまずに納めて下さい。





実施前 現地確認 2023.3 NO1



実施前 現地確認 2023.3 NO2



NO3



NO4

本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 巻ロータリークラブ

プロジェクト名: 水芭蕉生息地環境整備

プロジェクト成果の確認

毎年恒例の奉仕活動として、新潟市西蒲区仁箇の山中の水芭蕉生息地環境整備を行っております。

毎年少しずつ整備を行い、地元の方は勿論、多くの観光客の方々にも水芭蕉の観賞に来て頂きたいという思いで行っております。

春先には、観光会社がハイキングコースの一部として立ち寄ったり、地元の方が観賞に訪れたりしております。

また、私共の現場視察時には、東京から毎年来るという女性の方々に出くわしました。

春は、美しい大きな水芭蕉でいっぱいになります。巻の穴場と言ってもよいのではないかと思います。

この奉仕活動は、巻ロータリークラブの会員が雪解けの後、春を迎えると現地に視察に行き、今年の水芭蕉生息地環境整備の活動内容の確認を行います。

今年度は、視察に行ったところ例年になく倒木が多く、遊歩道の整備 ⇒ 倒木の処理を急ぎ行う事となりました。

見積書の取り直しや、業者様にお願いする危険な仕事が発生した為です。

この度の水芭蕉生息地環境整備は、かなり体力が必要とする労働でしたので、一日では全てをまかなう事が出来ませんでした。

そこで相談をし、今秋に補完整備、来春に山道階段整備作業と杭打ち作業を引き続き計画しております。

この場所に訪れるには、車を駐車するスペースがわずかしかなかった。

今後の長期に渡る計画になりますが、新潟市の行政に協力をお願いし、駐車場の確保までできればしたいと思っております。

来春の4月上旬には、再び美しい水芭蕉をより多くの方に見て頂こうと、会員一同頑張っております。

以上

第 2560 地区 2022-23 年度 5 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2022年 7月1日	5月末 会員数	うち女性 増減		
第1分區(9クラブ)				-	372	382	37	10
		4	31.5%	88	89	0	1	
		3	19.5%	38	41	10	3	
		3	29.0%	33	31	1	-2	
		4	84.0%	44	50	3	6	
		2	21.6%	38	38	4	0	
		2	17.4%	23	23	2	0	
		4	4.3%	45	46	4	1	
		3	51.4%	36	37	7	1	
		4	25.9%	27	27	6	0	
第2分區(9クラブ)				-	426	441	31	14
		4	29.8%	79	84	3	5	
		2	14.3%	63	63	8	0	
		4	34.8%	108	114	6	6	
		1	80.0%	5	5	0	0	
		2	47.5%	38	39	2	1	
		3	13.5%	38	37	4	-1	
		4	31.6%	35	38	1	3	
		3	44.4%	18	18	0	0	
		4	51.2%	42	43	7	0	
第3分區(5クラブ)				-	89	93	5	4
		4	18.8%	18	16	1	-2	
		4	50.0%	10	12	0	2	
		3	27.3%	30	32	1	2	
		4	37.0%	26	27	3	1	
		2	0.0%	5	6	0	1	
第4分區(11クラブ)				-	350	364	26	14
		3	9.1%	55	55	0	0	
		3	8.6%	33	35	2	2	
		3	6.9%	32	29	4	-3	
		3	16.7%	35	42	2	7	
		4	73.3%	29	30	4	1	
		4	5.3%	21	20	1	-1	
		3	3.6%	28	28	3	0	
		4	9.4%	54	53	2	-1	
		4	7.1%	25	28	3	3	
		4	14.3%	6	6	2	0	
		3	5.3%	32	38	3	6	

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2022年 7月1日	5月末 会員数	うち女性 増減		
第5分區(7クラブ)				-	288	296	26	8
		4	70.8%	44	48	3	4	
		4	2.4%	40	42	0	2	
		3	25.5%	52	55	5	3	
		3	19.0%	43	42	2	-1	
		4	14.3%	21	21	1	0	
		3	18.4%	49	49	3	0	
		3	23.1%	39	39	12	0	
第6分區(6クラブ)				-	116	125	13	9
		3	32.3%	31	31	4	0	
		3	9.4%	28	32	4	4	
		4	15.4%	25	26	3	1	
		3	0.0%	14	15	1	1	
		4	21.4%	12	14	1	2	
		4	14.3%	6	7	0	1	
第7分區(7クラブ)				-	313	313	21	0
		3	33.3%	70	69	4	-1	
		3	36.1%	72	72	6	0	
		4	12.1%	35	33	1	-2	
		3	100.0%	41	43	3	2	
		4	64.9%	35	37	3	2	
		3	55.6%	27	27	0	0	
		3	90.6%	33	32	4	-1	

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,954 人
5月末会員数	2,014 人
女性会員数	159 人
純増減会員数	60 人
My Rotaryアカウント登録率	29.3 %

地区主要行事予定

2023年6月21日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2023年 (R5) 米山年度	7月	母子の健康月間			
		1	(土)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
		2	(日)	全国危機管理委員長会議・青少年交換委員長会議	TKP京橋
		15	(土)	危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
		15~16	(土~日)	インターアクト年次大会 (ホストクラブ:新潟北RC)	新潟東映ホテル
		18~19	(火~水)	短期交換学生研修旅行	佐渡
		22	(土)	地区補助金オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
	29	(土)	クラブ活性化セミナー (会員増強セミナー)	ホテルオークラ新潟	
	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間			
		5	(土)	ロータリー財団地区資金監査	万代シルバーホテル
		5~6	(土~日)	第3回米山学友による世界大会	つくば国際会議場/ ホテルグランド東雲
		6	(日)	全国RA委員長・地区代表合同会議	AP新橋
		8	(火)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
		中旬		短期・長期交換学生研修旅行	千葉方面(予定)
		20	(日)	国際奉仕フォーラム	ANAクラウンプラザホテル新潟
		26	(土)	第1回地区ロータリー財団セミナー	長岡グランドホテル
		27	(日)	第2回米山カウンセラー研修会	新潟県内
		27	(日)	米山記念奨学生研修会	新潟県内
		27~28	(日~月)	米山記念奨学生親睦交流会	新潟県内

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟万代	鈴木 秀明	2023.05.08	(株)鈴木仏壇店	代表取締役	仏壇・墓石製造販売
新潟万代	高橋 優	2023.05.08	新潟農業開発(株)	代表取締役	不動産売買
新潟万代	星野 浩一	2023.05.08	司法書士法人 中央ライズアクロス	司法書士	司法書士
三条東	横山惣一郎	2023.05.11	三新自動車(株)	取締役	自動車販売・修理
長岡	古野 貴久	2023.05.16	第一生命保険(株)長岡支社	長岡支社長	生命保険
長岡東	小森谷 敦史	2023.05.17	(株)日本旅行 長岡支店	支店長	旅行業
新潟南	小石 昌典	2023.05.31	東北電力ネットワーク(株)新潟支社	執行役員 新潟支社長	送配電業
新潟南	福田 豊彦	2023.05.31	第一生命保険(株)新潟支社 万代営業オフィス	営業部長	生命保険
燕	佐野 大輔	2023.06.01	aile	代表	企業支援・新規事業サポート
高田	宮下 啓三	2023.06.02	(株)東光クリエート	代表取締役社長	電気通信工事
長岡東	剣持 涉	2023.06.07	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 長岡支社	支社長	損害保険
新発田	金山 愛子	2023.06.12	敬和学園大学	学長	学校教育
新発田	若月 美晃	2023.06.12	(有)伊藤鉄筋工業	専務取締役	鉄筋工事業
燕	樋山 義和	2023.06.15	(有)山儀工業所	取締役社長	金属厨房雑貨製造販売
燕	小林 祐樹	2023.06.15	(株)燕重機	代表取締役	建設機械整備・レンタル
燕	枝 龍太郎	2023.06.15	第一生命保険株式会社	オフィス長	保険 金融業
越後魚沼	十見 健哉	2023.06.22	(株)柏商事スチール加工センター	専務取締役	建設資材販売



「Grow Rotary のために」



第2地域 ロータリーコーディネーター 野口 英一（甲府）

4月開催のクラブ活性化セミナー1日目のテーマは、「DEIをクラブレベルまで浸透させよう」でした。意識せずにDEIを採用し、既に多様なメンバー構成になっているクラブもあると思いますが、多くのクラブでは偏ったメンバー構成のままではないでしょうか。

国際ロータリー細則 4.070 に『各クラブとローターアクトクラブは、多様性、公平さ、インクルージョンを推進するようなバランスのとれた会員基盤を構築するよう努めるものとする。いかなるクラブも、RIにいつ加盟したかに関係なく、いかなる方法においても、ジェンダー、人種、皮膚の色、信条、国籍、または性的指向により入会を制約すること、もしくはRI定款または細則により明白に認められていない入会の条件を課すことはできない。本節の規定に反する会員資格のいかなる規定または条件も無効であり、効力はもたない。』とあります。

つまり、DEIは今や国際ロータリーのルールです。知らないでは済まされないのです。

それではどうすればよいのかという方々のために、ご参考になるリソースをお伝え致します。

まず、右のグラフで皆様のクラブの現状を確認してみてください。限界クラブは大至急、限界クラブ予備軍の方も早速下記を試してみてください。

My Rotaryには様々なリソースが用意されています。クラブの現状に合わせた対応策のヒントが沢山掲載されています。

Grow Rotaryのためにクラブの現状をしっかりと理解し、DEIを含めた改善策を講じていかないとクラブの成長はあり得ません。

さあ、行動してみましょう。

		奉仕活動	
		微妙	積極的
仲間意識	高	居心地のよいクラブ (親睦会風クラブ) 活動は例会主体 仲間意識大 地域事情に関心薄	次代に続く活性クラブ 切磋琢磨 自己研鑽 充実した例会と奉仕活動 地域事情を反映
	低	限界クラブ 余計なことを言わない 新しいことをやらない 前例踏襲	体面維持型クラブ (限界クラブ予備軍) 偏ったヒエラルキーの下 一部の奉仕活動以外は 無関心

リソース集





第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 高良 明 (川崎西)

■DEI へのコミットメント

2019年1月、RI 理事会は、ロータリーは多様性 (Diversity) があり、公平 (Equity) で、開放的 (包括的、Inclusion) な組織と位置付け、DEI を強調しました。さらに2021年6月のRI 理事会において、DEI 声明の見直しと強化を行い、新たな「多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント」が採択され、2022年手続要覧の「1 ロータリーの基本理念」にも掲載されました。

この DEI は、20 世紀半ばにシリコンバレーを中心とした米国企業において、D&I (Diversity & Inclusion) という考え方を企業の人材活用や組織開発に活かし、さらに昨今、Equity を加え、DEI として活性化された組織を目指すようになってきたのが元々の由来です。

■DEI 推進のメリット

DEI を推進していけば、次のようなメリットが生じると考えます。

1. 新しいアイデアが生まれ、クラブの活性化につながる

多種多様な異質の人々が集い互いに尊重し合うことで、さまざまな意見やアイデアが生まれ、互いに学び合い、クラブの活性化につながります。

2. 会員の帰属意識が高まり、クラブの活性化につながる

互いに公平にインクルーズされるため帰属意識が高まり、安心してクラブの一員として奉仕活動ができ、やる気が醸成されてクラブの活性化につながります。

3. DEI の文化がクラブに根付くことによって会員維持や会員増強に役立つ

DEI の文化がクラブに根付けば、人間関係不和による退会防止にも役立ち、また新会員増強の大きなバックボーンとなりえます。

4. ロータリーのブランディングや公共イメージ向上に役立ち社会の信用を高める

DEI はクラブ組織の質的向上を増進し、ロータリーのブランドを高め、公共イメージ向上に役立つこととなります。

■クラブの活性化とロータリーの公共イメージの増大への期待

上記の通り、DEI がクラブに理解され文化として根付けば、会員が増強され、クラブは活性化されることが期待されます。会員へのロータリーブランドの意識付けが強化され (インナーブランディング)、外部への広報 (アウトターブランディング) も矜持をもって行うことができ、公共イメージ向上に一層役立つことが期待できます。問題はいかにクラブに理解され根付かせるか、です。そのためには次のようなパイプ創りや手立てが必要と考えます。

1. 地区やクラブに DEI 委員会の設置要請

2. コーディネーターと各地区のガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、地区公共イメージ向上委員長などの方との会合やセミナー開催

3. DEI についてのビデオを作成し、各地区・各クラブへ配信し理解の浸透

4. DEI 実施具体例やイベントによる発表をロータリー研究会等の機会を通じて実施

以上のようなことが考えられますが、いずれにせよ、RI (地域リーダー) と地区、クラブが一体となって DEI 推進運動を展開していくことが大事と考えます。以上



1. 理事会開催 — 23 学年度から 9 人増の 889 人採用 —

6月5日、第39回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事27人、監事2人が出席しました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2024 学年度奨学生採用数、2024 学年度募集要項、2023 年度事業計画案、資



産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2024 学年度の奨学生採用数は、前年度から9人増加の889人(枠)とすることがなどが決定しました。

2. よねやま親善大使 退任式・任命式開催

6月5日の理事会開催前、この6月末で退任となる第4代よねやま親善大使3人の退任式が行われました。記念品として感謝の盾などが贈られ、それぞれの大使が3年に及ぶ活動や支援への感謝を述べました。コロナ禍という、活動が制限された難しい環境の中、精力的かつ柔軟に活動していただき、心より感謝申し上げます。

その後、7月1日から正式に始動する第5代よねやま親善大使3人の任命式が行われました。



委嘱状を受け取った陳瑤さん(左)とウエンブウェベさん(右)

残念ながら、イメン ジェブリさんが体調不良により欠席となりましたが、全国各地の理事が見守る中、若林理事長から、出席した2人の大使へ委嘱状とタスキが手渡されました。

また、親善大使のセレモニー終了後、奨学会事務局にて第5代よねやま親善大使のオリエンテーションを開催。広報委員会の酒井善盛委員長を講師に迎え、親善大使の役割や心構えを学んでいただいたほか、第4代親善大使から、体



退任するカレンさん(左)、アヘゴさん(中央右)、李さん(右)

験談やアドバイスを話していただきました。

まもなく、第5代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーとの交流から、学んだ経験が人生においてどのように活かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。招へいをご希望の場合は、米山奨学会事務局の広報担当まで。



研修を終えた親善大使と酒井善盛広報委員長(中央左)

3. 寄付金速報—今年度の寄付実績は6月30日(金)まで—

前年同期比

+ 6.6%

普 - 1.2% 特 + 10.5%

5月までの寄付金は前年同期と比べて6.6%増（普通寄付金:1.2%減、特別寄付金:10.5%増）、約8,080万円の増加となりました。今年度予算の普通寄付金4億1千

万円までは、残りあと290万円ほど。特別寄付金8億7千万円は既に3,000万円超えて、今年度分の予算達成は確実となりました。ご寄付をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。尚、今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに6月30日(金)までに当会銀行口座に入金記帳された分までとなります。日程に余裕をもってご送金ください。

4. 博士号取得状況

2022-23学年度に博士号を取得した奨学生・学友は64人、これまでの累計は3,919人となりました(6月12日現在)。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。



文字盤の裏に氏名を刻印

申請方法

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
完成まで約2週間かかります

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281/email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

5. 全国米山学友会代表者セミナー開催

国内外の米山学友会代表者を対象としたセミナーが5月13日、ハイブリッド形式で開催されました。都内会場には日本国内33の学友会のうち代表者27人が集い、海外学友会会長の9人がオンラインで参加しました。

若林紀男理事長、学友準備委員会の服部良男委員長からそれぞれご挨拶をいただき、事務局から学友会規程や標準会則に関する説明を行いました。「再会 in 関東」について朴貞子実行委員長からご案内いただいた後、タイ学友会のブンロッド ワラウト会長(1995-97/福岡東南RC)、第2740地区学友会のアメリカ・リズキー会長(2020-21/鹿島RC)、第2660地区学友会の頼育萱^{らいいくせん}会長(2006-07/やまと西和RC)の3人から、各学友会の活動や工夫について、事例発表が行われました。



セミナー終了後に全員で記念撮影

その後は4グループに分かれ、会員増強など、学友会の運営について活発な議論が交わされました。駒井英基学友担当理事からの講評後、懇親会が開催され、打ち解けた雰囲気ですらに親睦が深められたようでした。今回のセミナーを通じて、地区を越えて学友の結束が深まり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。